

令和2年度

まちづくり推進部 十文字地域局の方針書

局名	まちづくり推進部 十文字地域局
局長名	和泉 久夫

1. 局の使命(ありたい姿)

地域の身近な行政拠点として市民満足度の向上に努めるとともに、地域住民が安心して生き生きと暮らせる地域を目指します。

2. 局の抱える課題(現状)

- (1) FM計画に基づく公共施設の統廃合を進める必要があります。
- (2) 十文字・三重地区の地区交流センター化を進める必要があります。
- (3) 公立保育園民営化計画に基づく事業推進が必要です。

3. 今年度の『スローガン』

チーム一丸となって推進する、明るく元気な地域づくり！

4. 今年度の方針

- (1) 満足度の高い市民サービスの提供を目指します。
- (2) 地域の行政サービス拠点となる公共施設整備を促進します。
- (3) 市民が主役となる活力ある地域づくりを支援します。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	満足度の高い市民サービスの提供を目指します。
	取組内容	①「元気な挨拶」「気持ちの良い声かけ」を励行し、明るい雰囲気職場を築きます。 ②市民目線で思いやりのある親切、丁寧かつ迅速な応対を心掛けます。 ③職員自らが資質の向上に努め、課内・局内での協力体制を築きチーム力の向上を目指します。
(2)	実現したい成果	地域の行政サービス拠点となる公共施設整備を促進します。
	取組内容	①十文字地域多目的総合施設整備について、関係部署や局内連携を密にしながら、計画通り、かつ安全に事業を推進するとともに、完成後の円滑な機能移転を図ります。併せて、機能移転・統合により廃止となる施設の解体事業についても推進していきます。 ②小学校統合に伴う植田・睦合地区の学童拠点施設となる旧植田保育所の改修事業を進めます。 ③十文字・三重保育所の民営化について、計画どおりの段階的進捗を図るとともに、譲渡後空園舎の解体事業も進めます。
(3)	実現したい成果	市民が主役となる活力ある地域づくりを支援します。
	取組内容	①地域づくり活動補助金等の制度周知に努めるとともに、地域住民が自主的に行う学習活動やまちづくり活動を支援します。 ②三重地区交流センター化に向けた地域運営組織設立への取り組みを推進します。

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1) 満足度の高い市民サービスの提供を目指します。
 - ・職員間の情報共有と連携強化を図り、明るく元気な挨拶や積極的に声かけをすることで、お客様が安心して相談できている様子がうかがえる。また接遇面においても、市民目線での親切・丁寧な対応ができている。
 - ・職員個々のスキルアップを図るため、研修会等への積極的参加を促すことに加え、局内でも市民サービス課を中心とした独自の研修会を開催し職員の資質向上に努めている。
- (2) 地域の行政サービス拠点となる公共施設整備を促進します。
 - ・十文字地域多目的総合施設整備事業では、本体建設工事、外構工事ともに事故も無く、計画通り順調に進捗できており、現在はネットワーク設備等の付帯工事を実施している。また、9月議会では、新施設の供用開始に向けた条例等の改廃を行うとともに、新施設での活動を予定している団体への施設内覧会を開催し、今後使用したい部屋と日時の希望取り纏めを行った。
 - ・十文字西地区の学童拠点施設となる旧植田保育所の改修事業は終了。そして、来年度解体予定の地域局庁舎、幸福会館及び旧睦合保育所についての実施設計業務に着手した。
- (3) 市民が主役となる活力ある地域づくりを支援します。
 - ・地域づくり活動推進の支えとなる補助制度について、全戸配布の十文字地域局だよりに掲載し周知を図った。
 - また、新規補助金活用希望団体に対しては、積極的に交付申請手続きの支援を行った。
 - ・5/19日、十文字地区公民館関係者会議を開催し、地区交流センターの先進団体とされる十文字西地区交流センター長より公民館から交流センター設立までの経過報告とセンター化に向けての課題についてお話し頂き理解を深めた。また、7/27日には、三重地区の公民館関係者及び各自治会長さんと共に旧小学校を交流施設として改修し、地区交流センターの活動拠点としている金沢孔城館を視察見学した。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1) 満足度の高い市民サービスの提供を目指します。
 - ・引き続き、来客者が安心して相談できるよう、明るく元気な挨拶や声かけを心掛け、親切・丁寧かつ迅速な対応ができるよう、さらなる職員の資質の向上を目指す。
- (2) 地域の行政サービス拠点となる公共施設整備を促進します。
 - ・新施設への各種機能移転については、関係部署や局内での連携を密にしなが、行政サービスの提供に支障のないように実施するとともに、どなたにでも利用しやすい施設となるような環境整備に努めたい。
- (3) 市民が主役となる活力ある地域づくりを支援します。
 - ・今年度については、新型コロナウイルス感染症の影響から大小様々なお祭りやイベントが中止となっており、補助申請件数の伸びは厳しい状況にあるが、ここにきて少しはあるがイベント開催の兆しが感じられるようになってきたので、今後の伸びに期待したい。
 - ・小学校統合後の第二小学校を三重公民館とする利活用案が予定されていることから、この地区の公民館をどのようなものにしていくか、どう運営していくかという話し合いを契機として、地区交流センター化の地域運営組織設立の方向に導いていきたい。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- (1) 満足度の高い市民サービスの提供を目指します。
 - ・明るく元気な挨拶や積極的に声かけをすることで、お客様が安心して相談できている様子がうかがえる。接遇面においても、市民目線での親切・丁寧な対応ができている。
 - ・職員個々が資質の向上に努めているほか、担当業務に関わる研修以外に、個々のスキルアップ・自己改革・行動改革を図る内容をテーマにして市民サービス課を中心とした独自の研修会を3回実施しました。すぐに結果が出るものではありませんが、目指す姿に向かって、今後も工夫をしながら取り組んでいきたい。
- (2) 地域の行政サービス拠点となる公共施設整備を促進します。
 - ・十文字地域多目的総合施設整備については、本体工事をはじめ、予定されていた工事等を事故無く順調に完了し、昨年11月2日にオープンすることができました。事前に生涯学習利用団体へのアンケート調査、説明会及び内覧会を行うなどしてオープンに備えた結果、大きなトラブルもなく現在に至っております。又、事業の一環として進めておりました旧十文字庁舎及び幸福会館の解体工事の実施設計についても予定通り完了しており、新年度の解体に向けて準備を進めてきました。新施設は多くの方々に利用いただき、アンケート結果からも好評をいただいております。今後は、検診、選挙投票所等、市役所の行事としての利用のほか、災害時の避難所としての機能も果たしていくこととなりますので、創意工夫しながら、市民に喜ばれる、利用しやすい施設を目指していく。
 - ・小学校統合に伴う植田・睦合地区の学童拠点施設となる旧植田保育所の改修事業は、R2年9月24日に完成した。3月には学童利用者への説明会を開催しており、これからも引き続き、安心して利用できる環境整備に努めてまいります。
 - ・十文字保育所を引継ぐ新法人での円滑な運営開始に向け、これまで財産の無償譲渡等各種手続きを順調に進めてきた。4月以降も、関係部署との連携しながら、よりよい保育園を目指しサポートしていく。
 - 三重保育所の民営化では、今年度予定していた法人の公募を一旦中止し、計画の見直しを図っている。今後については関係部署と連携しながら進めていく必要がある。
 - 現在、空き園舎となっている睦合保育所の解体工事实施設計はR2年10月30日に終了し、新年度の解体へ向け準備を進めてきた。
- (3) 市民が主役となる活力ある地域づくりを支援します。
 - ・今年度については、新型コロナウイルス感染症の影響から大小様々なお祭りやイベントが中止となっており、補助申請件数、申請額ともに減少する結果となった。新型コロナウイルス感染症の早期の終息を願いたい。
 - ・三重地区交流センター化に向けた地域運営組織設立への取組みでは、小学校統合後の第二小学校を三重地区公民館として利活用するための情報収集の一環として、三重公民館関係者及び三重地区会議の関係者による金沢孔城館の視察研修を行いました。地域の方々が利用しやすい公民館等の整備と併せて、この地域の様々な事業の活動拠点としての地区交流センター化に向けた機運が高まってきており、是非この第二小学校の公民館化を契機とし、自主運営組織の設立に結び付けてまいります。